

富山県子育て支援・少子化対策に関する基本計画 県民等への意見聴取

- 8月19日 知事とのこども意見表明交流会 県内の小学生、中学生 27名
「こどもまんなか社会」の実現に向けて」
【意見表明】
- 9月19日 高校生とやま県議会第1委員会 県内高校生 8名
「新たな基本計画の中間報告について」
【聞き取り】
- 10～11月 声を聴かれにくいこどもへの意見聴取
フリースクールに通う児童生徒、外国にルーツのある児童生徒 48名
「学校や学校以外の居場所となる場所にどのような思いを抱いているか」
【アンケート調査】
- 10～11月 こども県政モニターからの意見聴取
こども県政モニター登録した小学生から高校生 35名
「学校や学校以外の居場所となる場所にどのような思いを抱いているか」
【アンケート調査】
- 11月15日 とやまホンネトーク（東京の回）
富山県出身者で都内で就職している社会人（20～30代）・都内在住の学生 16名
「若者の県外転出超過が続いている要因」
【ワークショップ】
- 11月19日 とやまホンネトーク（大学生の回） 富山県在住の大学生・大学院生 17名
「将来の仕事・理想の働き方、恋愛・結婚」
【ワークショップ】
- 11月20日 とやまホンネトーク（子育ての回） 富山県在住で子育て中の父母 9名
「こどもまんなか社会の実現」
【座談会】
- 11月20日 とやまホンネトーク（若手社会人の回） 富山県在住の若手社会人 14名
「将来の仕事・理想の働き方、恋愛・結婚」
【ワークショップ】

県民等への意見聴取における主な意見及び意見への対応について

No.	「基本計画(案)」該当箇所		意見徴収方法	意見の概要	意見への対応
	第3章 施策の基本方向(P14)	第3章 具体的施策(P15~56)			
1	企業等におけるジェンダーギャップの解消	(1)② (P15) (2)① (P18)	2. 高校生とやま県議会	<p><男女の格差></p> <ul style="list-style-type: none"> ・家事や育児の負担が女性に偏っていることに関して、男女の格差が是正されると良いと思った。 ・働く上で、男女の格差が是正されることで女性が働きやすくなると思う。 	<p>ご意見のような考えに基づき、働き方を見直し、男性も当たり前に育児休業が取得でき、家事・育児等に参画できるような環境づくりや意識改革を推進してまいりたい。</p> <p>また、「家事・育児は女性の役割」といった固定的な性別役割分担意識や無意識の思い込み(アンコンシャス・バイアス)への気づきを促し、性別に関わらず、だれもが働きやすい環境づくりを進めてまいりたい。</p> <p>【P15「女性が働きやすく活躍できる環境整備の推進」】 【P18「男性の育児休業取得の促進」】</p>
2	働き方改革の推進 妊娠前から妊娠 期、出産、幼児期 までの支援	(1) (P17~18) (1)③ (P32)	5. ホンネトーク【東京の回】	<p><富山に住む人を増やす方法></p> <ul style="list-style-type: none"> ・働きやすい環境、子育てしやすい環境が整っていたら、富山に帰ってきたいと思うし、富山で子育てしたいと必ずなると思う。子育ては富山の方が良い。 	<p>ご意見のとおり、働きやすい環境や子育てしやすい環境を整備することが重要であるため、男性の育児休業取得率や取得期間の向上のほか、柔軟な働き方が選択できる職場環境の整備に取り組む企業への支援など、男女がともに働きやすい職場環境を推進することより、若い世代から選ばれる雇用環境の整備に重点的に取り組んでまいりたい。</p> <p>また、こどもに関して気軽に相談できる窓口や支援につなぐ体制を整えてまいりたい。</p> <p>【P17~18「働き方改革の推進」】 【P32「妊娠前から子育て期までの支援体制の整備充実」】</p>
3	働き方改革の推進	(1)⑦ (P18)	8. ホンネトーク【社会人の回】	<p><現在の職場に求めること></p> <ul style="list-style-type: none"> ・通勤時間を減らしたいので、在宅ワークと半々くらいで働きたい 	<p>ご意見のような働き方ができる職場環境づくりを推進することが重要であるため、時間や場所にとらわれない柔軟な働き方の選択肢を増やすなど、働き方改革を推進してまいりたい。</p> <p>【P18「多様で柔軟な勤務形態の導入促進」】</p>
4	男性の家事・育児参画の促進	(2)① (P18)	8. ホンネトーク【社会人の回】	<p><男性育休の取得></p> <ul style="list-style-type: none"> ・企業勤めで育児休業を取得するのは無理 	<p>本県の男性の育児休業取得率は33.9%(令和5年度)となっているものの、女性との差は依然として大きく、男性も当たり前で育児休業が取得できる社会になるよう、取り組んでまいりたい。</p> <p>【P18「男性の育児休業取得の促進」】</p>
5	男性の家事・育児参画の促進	(2)① (P18)	7. ホンネトーク【子育ての回】	<p><男性育休の取得></p> <ul style="list-style-type: none"> ・数日間の休みを取るのには育休ではない。それを育児休業取得率にカウントしないで欲しい。 	<p>ご意見のとおり、男性の育児休業の取得期間を向上させることが重要であるため、男性従業員が希望する期間の育児休業を取得できるよう、企業に対する支援を行ってまいりたい。</p> <p>【P18「男性の育児休業取得の促進」】</p>
6	男性の家事・育児参画の促進	(2)① (P18)	7. ホンネトーク【子育ての回】	<p><男性育休の取得></p> <ul style="list-style-type: none"> ・男性の場合、育休から復帰してもキャリアが閉ざされることが多い。 	<p>ご意見のようなことがないようにすることが重要であるため、育休を取得した方がキャリアにおいて不利な取扱いを受けることが無いよう、啓発を行ってまいりたい。</p> <p>【P18「男性の育児休業取得の促進」】</p>
7	若者・女性の転入・定着促進	(1)① (P21)	6. ホンネトーク【大学生の回】	<p><県内企業のイメージ></p> <ul style="list-style-type: none"> ・高校時代、富山県内にどんな企業があるのか良くわかっていなかった。 	<p>ご意見のとおり、中高生に県内企業の魅力を認識していただくことが重要であるため、中高生にやりがいをもって活躍できる県内企業がたくさんあることを知ってもらう取組みを進めてまいりたい。</p> <p>【P21「中高生へのアプローチ」】</p>
8	若者・女性の転入・定着促進	(1)③ (P21)	6. ホンネトーク【大学生の回】	<p><富山の暮らしの魅力></p> <ul style="list-style-type: none"> ・都会と地方暮らしのどちらが良いのかよくわからないので、違いを知りたい。 	<p>移住相談窓口やセミナー・相談窓口において、都会にはない富山暮らしの魅力をしっかりご紹介し、更なる移住促進を図ってまいりたい。</p> <p>【P21「移住・UJターン」の促進】</p>
9	若者・女性の転入・定着促進	(1)①② (P21)	5. ホンネトーク【東京の回】	<p><富山に戻るとしたら？戻った時に不安なこと></p> <ul style="list-style-type: none"> ・年収が下がるのが怖い。女性が富山県で働くことになった時に、どのような待遇を受けるのか想像がつかない。 ・先生や看護師等資格がある方のイメージはつくが、普通に会社で働いている女性との接点がなく、どのように働いているのか、イメージがわからない。 	<p>・ご意見のような富山で働くことへのイメージがわかず不安を感じられる人もいらっしゃるから、進学・就職前に自身のライフプランやキャリア形成について考える機会を提供する取組みを進めてまいりたい。</p> <p>・UJターンの促進に向けた県内就職の魅力発信や学生等と県内企業が直接交流できる機会の提供に一層努めてまいりたい。</p> <p>【P21「中高生へのアプローチ」】 【P21「大学生等若者の県内就職の促進」】</p>

No.	「基本計画(案)」該当箇所		意見徴収方法	意見の概要	意見への対応
	第3章 施策の基本方向(P14)	第3章 具体的施策(P15~56)			
10	若者・女性の転入・定着促進	(1)② (P21)	7. ホンネトーク【子育ての回】	<教育> ・奨学金の返還を助成する制度についてもっと宣伝してほしい、対象を拡充してほしい。転入・定着の促進のためにも必要。	地域産業の中核人材となる学生の奨学金返済を支援し、県内企業への就職・定着を促進するため、一層の周知広報に努めるとともに、費用を県とともに負担している県内企業や県内の人材採用市場の動向を注視しながら制度について検討してまいりたい。 【P21「大学生等若者の県内就職の促進」】
11	若者・女性の転入・定着促進	(1)② (P21) (1)⑤ (P22)	6. ホンネトーク【大学生の回】	<県内企業のイメージ> ・就職時、富山県内には選択肢が少ない。	・今後も県内企業の情報発信等に努めてまいりたい。 ・本県で働き、暮らす選択肢を広げるため、企業誘致の取組みを進めてまいりたい。 【P21「大学生等若者の県内就職促進」】 【P22「若者に選ばれる企業の誘致」】
12	若者・女性の転入・定着促進	(1)⑧ (P22)	5. ホンネトーク【東京の回】	<富山に将来的に戻る可能性> ・富山は保守色が強い。閉鎖的。 ・「彼氏とかいないの?」「結婚しないの?」「孫の顔がみたい。」そういうことを言うてくる大人がいるところに帰りにたくない。	ご意見のように感じておられる方もいらっしゃるから、県民一人ひとりが無意識の思い込みに基づくことで、個人を認め合い、性別に関わらず、誰もがいきいきと暮らせる環境づくりを進めてまいりたい。 【P22「地域におけるアンコンシャス・バイアスの解消」】
13	学校等におけるライフプラン教育の推進	(1)③ (P24) (2)① (P25)	6. ホンネトーク【大学生の回】	<結婚> ・未婚率が上がっていることが悪いことだと思わない。「自立して生きていける」「生き方の多様性」の証なのではないか。	ご意見のとおり、多様な価値観を尊重することが重要であるため、価値観の多様性も踏まえながら、自分の進みたい道を考えられるよう取り組んでまいりたい。 【P24「自分の人生を設計する力と学び続ける態度の育成(ライフプラン教育の充実)」】 【P25「社会人におけるライフプランを考える機会の提供」】
14	出会い・結婚を希望する若者への支援	(1)① (P25)	8. ホンネトーク【社会人の回】	<恋愛・結婚> ・結婚にはネガティブなイメージが強い。	ご意見のような印象を持たれる方もいらっしゃるから、結婚を希望する方に対して、結婚への不安を和らげ、前向きに捉えていただけるよう、情報提供・気運醸成に取り組んでまいりたい。
15	出会い・結婚を希望する若者への支援	(1)① (P25)	6. ホンネトーク【大学生の回】	<恋愛・結婚> ・結婚後にお金がかかるイベントが多そうで不安 ・結婚はしたいが、良いイメージを持ってない人が多い	【P25「結婚に関する適切な情報提供・気運醸成」】
16	出会い・結婚を希望する若者への支援	(1)② (P25)	6. ホンネトーク【大学生の回】	<恋愛・結婚> ・就職したら出会いが少なくなりそう。	ご意見のとおり、出会いを求めている方への支援が重要であるため、若者が気軽に参加でき、異性と出会うことができる出会い・交流の場等、様々な機会を提供してまいりたい。
17	出会い・結婚を希望する若者への支援	(1)② (P25)	6. ホンネトーク【大学生の回】	<恋愛・結婚> ・自然に出会いたいの、「恋愛」「マッチング」などの名前を出さずに自然に出会える(男女がペアになれる)イベントがあると良い。	【P25「結婚を希望する男女の出会いの機会の充実」】
18	若者・女性の転入・定着促進 子ども・若者・子育て当事者がウェルビーイングを高める社会づくり	(1)②③ (P26~27)	2. 高校生とやま県議会	<情報発信> ・子育て支援や人口減少対策について、調べていくと分かってくるが、一般の人にはあまり伝わっていない。発信の仕方が大事だと思う。	ご意見のとおり、県民への情報発信は重要であり、すべての県民が子育て支援や少子化対策について考え、地域ぐるみで支え合うという意識や気運を醸成するため、広報・啓発を推進してまいりたい。 ライフステージに応じた支援サービスや子育てに役立つ情報を提供してまいりたい。 【P26「子育て支援や少子化に関する意識啓発」・「妊娠、子ども・子育てに温かい社会づくり」】
19	子ども・若者・子育て当事者がウェルビーイングを高める社会づくり	(1)③ (P26)	7. ホンネトーク【子育ての回】	<子どもまんなか社会の実現に向けて> ・「子どもまんなか」社会の実現が掲げられているが、社会で子どもを見守るためには子育て当事者以外の人にもメリットがあるということ伝える必要があるのではないか。不平等感を解消したい。	ご意見のとおり、子ども・子育てを社会全体で支え、応援する気運を醸成してまいりたい。 【P26「妊娠、子ども・子育てに温かい社会づくり」】
20	子ども・若者・子育て当事者がウェルビーイングを高める社会づくり	(1)③ (P27)	3. 声を聴かれにくい子どもへの意見聴取【外国にルーツのある子ども】	<遊び場に関すること> ・富山県は遊ぶところが少ないので、もっと増やしてほしい。	天候に関わらず子どもたちが思いきり遊ぶことのできる屋内型施設「新川子ども施設」の開業(令和9年8月予定)に向けて準備を進めてまいりたい。 また、市町村と連携して、子育て支援アプリ「とみいくフレフレ」等により、子育て関係施設等の効果的な情報発信に努めてまいりたい。 【P27「屋内型施設新川子ども施設」の整備運営、子育て支援アプリ「とみいくフレフレ」による情報提供】
21	子ども・若者・子育て当事者がウェルビーイングを高める社会づくり	(1)③ (P27)	4. 県政モニター	<遊び場に関すること> ・悪天候の時に体を思いっきり動かせる無料の場所がほしい。	天候に関わらず子どもたちが思いきり遊ぶことのできる屋内型施設「新川子ども施設」の開業(令和9年8月予定)に向けて準備を進めてまいりたい。 【P27「屋内型施設新川子ども施設」の整備運営】
22	妊娠前から妊娠期、出産、幼児期までの支援	(P28)	7. ホンネトーク【子育ての回】	<保育> 産後のサポート支援として、親はどうしても子どもを優先し自分のことを後回しにしてしまうので、親のためだけに使える応援チケット(例:授乳サポート、家事を楽にする家電購入券など)等の支援があると良いのではないかと。	ご指摘いただいたとおり、市町村と連携して、産後の支援をさらに促進するための取組みを進めてまいりたい。 【P28「子育て当事者への支援」】

No.	「基本計画(案)」該当箇所		意見徴収方法	意見の概要	意見への対応
	第3章 施策の基本方向(P14)	第3章 具体的施策(P15~56)			
23	修学にかかる経費の助成	(2)① (P29)	1. 知事とのこども意見表明交流会	<学費の補助> ・行きたい学校があっても、家庭の事情で行けない人のために、学費を補助してもらえる制度があれば良い。	教育にかかる経済的負担軽減を図るため、支援を継続するとともに、こどもたちが経済的な制約を気にせず、自由に進学先を選択できるよう、公私間の負担格差の是正に向けて県の支援制度の拡充等について検討してまいりたい。 【P29「修学にかかる経費の助成」】
24	修学にかかる経費の助成	(2)① (P29)	3. 声を聴かれないこどもへの意見聴取【外国にルーツのあるこども】	<学費の補助> ・学費無料などの枠を広げてほしい。	・授業料に係る経済的負担の軽減を図るため、高等学校等就学支援金等を支給しているが、国制度を活用した支援であるため、対象の拡大等について国に要望してまいりたい。 ・こどもたちが経済的な制約を気にせず、自由に進学先を選択できるよう、県の支援制度の拡充等について検討してまいりたい。 【P29「修学にかかる経費の助成」】
25	修学にかかる経費の助成	(2)① (P29) (5)① (P45)	3. 声を聴かれないこどもへの意見聴取【フリースクール】	<フリースクールに通うこどもへの支援> ・中学生でも小学生の勉強をしたり、分からない所を教えてくれる人がいてほしい。 ・進学のためのサポートをしてほしい。	・フリースクール等民間施設に通所する児童生徒をもつ家庭に対する経済的な支援を行ってまいりたい。 ・授業料に係る経済的負担の軽減を図るため、高等学校等就学支援金等を支給しているが、国制度を活用した支援であるため、対象の拡大等について国に要望してまいりたい。 ・こどもたちが経済的な制約を気にせず、自由に進学先を選択できるよう、県の支援制度の拡充等について検討してまいりたい。 【P29「修学にかかる経費の助成」】 【P45「いじめ、不登校、ひきこもりのこどもに対する支援の整備・充実」】
26	妊娠前から妊娠期、出産、幼児期までの支援	(1)③ (P32)	7. ホンネトーク【子育ての回】	<保育> ・産後ケアの充実。期間限定でも良いので、1日に数時間でも外部の人が来てくれるサポートがあると嬉しい。	ご指摘いただいたとおり、市町村と連携し、産後の支援をさらに促進するための取組みを進めてまいりたい。 【P32「妊娠期から子育て期までの支援体制の整備充実」】
27	子育て支援活動の促進	(1)⑥ (P33) P36	7. ホンネトーク【子育ての回】	<子育て支援策> ・ママ・パパが気軽に話せる場が欲しい。特に父親が話せる場があると良い。母親の意見ばかり取り上げられる傾向にあるが、父親側から全然違った意見が出てくる場合がある。そのギャップを埋めていく必要があると思う。	・ご指摘いただいたとおり、子育て支援活動をさらに促進するための取組みを進めてまいりたい。 ・いくつかの市町村では、父親向けの教室が実施されており、市町村と連携し、活動の促進に努めてまいりたい。 【P33「乳幼児の健康診査や保健指導の充実」】 【P36「地域社会で支え合う子育て支援の促進」】
28	幼児教育・多様な保育ニーズへの対応	(2)③ (P34)	7. ホンネトーク【子育ての回】	<保育> ・特定の保育所の一時保育を断られた。制度があっても利用できないのなら意味がない。	市町村と連携して分かりやすい広報に努めてまいりたい。 【P34「保育所等における一時預かり事業を促進」】
29	幼児教育・多様な保育ニーズへの対応	(2)③ (P34)	7. ホンネトーク【子育ての回】	<保育> ・核家族が増える中、家族の負担が大きい。	ご指摘いただいたとおり、市町村と連携して、多様な保育ニーズに対応するための取組みを進めてまいりたい。 【P34「多様な保育の拡充と質の向上(一時預かり事業、ファミリーサポートセンター等)」】
30	幼児教育・多様な保育ニーズへの対応	(2)③ (P34)	7. ホンネトーク【子育ての回】	<保育> ・子育て支援センター関連のイベント告知はチラシだけではなく、SNSをもっと活用して欲しい。	市町村と連携して、効果的な情報発信に努めてまいりたい。 【P34「多様な保育の拡充と質の向上」】
31	幼児教育・多様な保育ニーズへの対応	(2)③ (P34) (2)⑧ (P36)	7. ホンネトーク【子育ての回】	<保育> ・保育園の単発利用を気軽にできるようにしてほしい。	市町村と連携し、一時保育やこども誰でも通園制度など、引き続き多様な保育ニーズへの対応を進めてまいりたい。 【P34「保育所等における一時預かり事業を促進」】 【P36「全ての子育て家庭を対象とした支援の充実」】
32	幼児教育・多様な保育ニーズへの対応	(2)④⑤ (P35)	7. ホンネトーク【子育ての回】	<保育> ・障害がある子どもなどを専門の方に見てもらえる環境を整えて欲しい。そのためにも医療従事者や保育士などの給料を上げて欲しい。	専門性の向上を図る研修を実施するなど障害児保育を充実するとともに、保育士等の処遇改善等を行い、人材確保を図ってまいりたい。 【P35「特別な配慮を必要とするこどもへの保育等の充実」・「幼児教育・保育の従事者の確保と資質の向上」】
33	幼児教育・多様な保育ニーズへの対応	(2)⑦ (P36)	2. 高校生とやま県議会	<放課後児童クラブ> ・長期休暇期間中の小学生が、安心して時間を過ごせる場所を整備する取組みがあると良いのではないかと。	ご意見のとおり、・長期休暇期間中の小学生が、安心して時間を過ごせるように、放課後児童クラブや「とやまっ子さんさん広場」の整備や運営を支援してまいりたい。 【P36「とやまっ子さんさん広場の整備」】
34	子育て支援活動の促進	P36	7. ホンネトーク【子育ての回】	<子育てで大変なこと> ・富山県のように、車社会の地域では、習い事の送迎がすごく大変。乗り合いタクシーのような便利なサポートがあると嬉しい。	ご指摘いただいたとおり、市町村と連携して、ファミリーサポートセンターを通じたこどもの送り迎えや育児・家事代行サービス等の子育て支援活動をさらに促進するための取組みを進めてまいりたい。 【P36「地域社会で支え合う子育て支援の促進」】
35	子育て支援活動の促進	P36	7. ホンネトーク【子育ての回】	<子育て支援策> ・コミュニティナースのような、地域の困りごとをさりげなく拾い上げる存在やコミュニティがあると嬉しい。	ご指摘いただいたとおり、NPOや子育てサークル等が行う子育て支援活動をさらに促進するための取組みを進めてまいりたい。 【P36「地域社会で支え合う子育て支援の促進」】

No.	「基本計画(案)」該当箇所		意見徴収方法	意見の概要	意見への対応
	第3章 施策の基本方向(P14)	第3章 具体的施策(P15~56)			
36	子育てにやさしいまちづくり	(1)① (P37)	4. 県政モニター	<居場所に求めること> ・思いっきり遊べる公園がほしい。	誰もが遊べる公園施設の整備を進めていきたい。 【P37「都市公園の整備」】
37	子育てにやさしいまちづくり こどもの居場所づくりの推進	(1)② (P38) (2)② (P43)	3. 声を聴かれにくい子どもへの意見聴取【フリースクール】	<居場所に求めること> ・フリースクールに遊具がほしい。 ・ソファやクッションがたくさんある図書館や本がたくさんある学習スペースがほしい。	・令和6年度に県立図書館で整備する子ども向けコーナーを活用し、子どもや子育て世代が気兼ねなく来館し、楽しく本に親しむ環境を整えたい。 ・不登校など様々な困難を抱える子どもが学校以外の居場所で安心して過ごせるよう、民間団体の取組みを支援してまいりたい。 【P38「子ども連れにやさしい施設・設備の整備促進」】 【P43「家庭や学校以外のこどもの成長にふさわしい安全・安心な居場所(サードプレイス)づくりの推進」】
38	こどもの意見の聴取と施策への反映 こどもの居場所づくりの推進	(2)① (P40) (2)② (P41) (2)② (P43)	1. 知事との子ども意見表明交流会	<大人と子どもが意見を交換する場> ・こどもの意見を吸い上げるだけでなく、大人を交えて、実際にその意見に対する認識を一致させたり、共通点を見いだしたりすることが必要だと思う。 <こどもの意見表明> ・小さい子どもたちも意見をたくさんもっているのに学校に行けない子どもや小さい子どもも、気軽に意見を言える場を作ってほしい。	議会体験や大人も交えた意見交換を行う「高校生とやま県議会」において高校生の意見を発表する場を設定している。 小学生や中学生等の子ども意見表明交流会を開催し、また「声を聴かれにくい」こどもの声を聴く機会を創出してまいりたい。 【P40「こどもの意見の聴取と施策への反映」】 【P41「高校生とやま県議会」での意見発表】 【P43「家庭や学校以外のこどもの成長にふさわしい安全・安心な居場所(サードプレイス)づくりの推進」】
39	こどもの多様な体験・交流活動の促進	(1)① P42	7. ホンネトーク【子育ての回】	<子育て支援策> ・公園があっても土日しか活用されていないので、平日に子ども達だけでも安心して遊べる環境を整えて欲しい。 例えば、大学生や高齢者による見守りチームを結成する等、社会全体で子育てをする仕組みができれば素敵。	子どもたちが地域の人々の温かい支援を受けながら、多様な交流・体験等の特色ある活動が展開できるよう、遊びのネットワークの形成を支援してまいります。 【P42「魅力ある遊び場づくりと遊びのネットワークづくり」】
40	こどもの居場所づくりの推進	(2)② (P43)	4. 県政モニター	<居場所に求めること> ・休日、寂しくなった時に、行けば誰か同い年くらいの人がいる場所があるといい。 ・手軽な距離感で、子どもたちが気軽に集まれるところがたくさん増えて欲しい。手軽な距離感。子供が無償で遊びに行けて、話を否定せずに聴いてくれるところ。好きな分野に思いっきり没れる空間がほしい。 ・ルールが厳しくない公園。思いっきり遊べる場所。	不登校など様々な困難を抱える子どもが学校以外の居場所で安心して過ごせるよう、民間団体の取組みを支援してまいりたい。 子どもが安心して過ごすことができることも食堂の設置促進を図るとともに、子ども食堂の取組みを支援してまいりたい。 【P43「家庭や学校以外のこどもの成長にふさわしい安全・安心な居場所(サードプレイス)づくりの推進」】
41	こどもの居場所づくりの推進	(2)② (P43)	2. 高校生とやま県議会	<不登校への対応> ・不登校の学生等が増えている中で、経済的な支援や施設の設備等、いろいろな面でサポートがあるとよい。	不登校など様々な困難を抱える子どもが学校以外の居場所で安心して過ごせるよう、民間団体の取組みを支援してまいりたい。 【P43「家庭や学校以外のこどもの成長にふさわしい安全・安心な居場所(サードプレイス)づくりの推進」】
42	いじめ、不登校、ひきこもり等への対応	(5)① (P45)	2. 高校生とやま県議会	<不登校への対応> ・学校に通えない子どものためのサポートや取組みがもっと広まるとよい。	スクールカウンセラーの配置やスクールソーシャルワーカーの派遣により、学校に通えない子どもを支援することとしている。 【P45「いじめ、不登校、ひきこもりの子どもに対する支援の整備・充実」】
43	児童虐待防止対策の推進	(1)② (P46)	1. 知事との子ども意見表明交流会	<子育てを支援する施設の設置> ・子どもが遊べて、親が子育ての悩みを相談ができる施設があるとよい。	富山駅前GiCビルに富山児童相談所子ども相談センターをはじめ、子ども・若者総合相談センター、県警少年サポートセンター、総合教育センターを集約した「富山県子ども総合サポートプラザ」を整備し、各相談機関の強みを活かして幅広い相談にきめ細かく対応します。また、子どもが遊べる場としては、同じGiC内の富山市の子育て支援センター等と連携してまいりたい。 【P46「子ども総合サポートプラザ」】
44	動物を通した情操教育の充実	(1)② (P51)	3. 声を聴かれにくい子どもへの意見聴取【フリースクール】	<学習環境> ・動物がいるといい。	ご要望があれば、動物が関わる学習機会の創出で各施設を訪問したい。なお、各学校等における動物の飼養については、施設長にお願いいただきたい。 【P51「動物を通した情操教育の充実」】
45	個性と創造性を伸ばす教育の充実	(2)① (P53)	5. ホンネトーク【東京の回】	<教育> ・富山は学校と言えば「頭の良さ」みたいな軸しかない。	・体験的学習や課題解決型学習などの探究型学習を通して、自ら課題を見つけ、主体的な問題解決に取り組む資質・能力の育成を図ってまいりたい。 ・自ら課題を見つけ、主体的な問題解決に取り組む資質や能力を育むため、「課題意識を高める工夫」「子どもが自己調整しながら学習を進めることができる工夫」を視点に授業改善を進めてまいりたい。 【P53「自立性を重視した教育活動の展開」】

No.	「基本計画(案)」該当箇所		意見徴収方法	意見の概要	意見への対応
	第3章 施策の基本方向(P14)	第3章 具体的施策(P15~56)			
46	個性と創造性を伸ばす教育の充実	(2)① (P53)	4. 県政モニター	<p><自主学習、校外学習等></p> <ul style="list-style-type: none"> ・自分の探究や自主学習の時間がほしい。 ・校外学習をもっとしたい。 	<ul style="list-style-type: none"> ・子どもたちが自身で、身近な事象から解決すべき課題を見いだす、主体的に考え、多様な立場から協働的に議論する、解決を導き出すなどの学習過程を大切にしたい問題発見・解決型の授業改善を推進してまいりたい。また、実感を伴った理解につながる体験も重視しており、各学校では、校外学習の機会も設けられている。 ・体験的学習や課題解決型学習などの探究型学習を積極的に推進してまいりたい。 <p>【P53「自立性を重視した教育活動の展開」】</p>
47	個性と創造性を伸ばす教育の充実	(2)① (P53)	4. 県政モニター	<p><学習のサポート></p> <ul style="list-style-type: none"> ・塾に行っていないので、休日も学校に行き、自習室のように使いたい。 ・学校の一部の教科が関心を持ちにくく生徒が意欲的に授業に取り組めないで、より生徒の気持ちに合った授業をしてほしい。自由進度学習の時間を増やしてほしい。一人一人のペースで勉強ができるようになってほしいもっと体験学習ができるようになってほしい。 	<ul style="list-style-type: none"> ・子どもたちが問題意識を高めたり、自己調整しながら学習を進めたりすることができるよう、主体的に考える、協働的に議論するなどの学習過程を工夫した授業改善を推進してまいりたい。 ・自ら課題を見つけ、主体的な問題解決に取り組む資質・能力の育成に向けた探究型学習や、自分の良さや個性を生かし、自主的に活動できるような多様な教育活動を推進してまいりたい。 <p>【P53「自立性を重視した教育活動の展開」】</p>
48	個性と創造性を伸ばす教育の充実	(2)①② (P53)	4. 県政モニター	<p><学習環境></p> <ul style="list-style-type: none"> ・1人1人のペースを理解し、それぞれの特性にあった個別指導をしてほしい。習熟度別学習をとりいれてほしい。疑問がある時に、直ぐに聞くことができる、時間の余裕と人の余裕があるとよい。 ・教科書以外の応用問題に対するアドバイスできる人や、時間を設けてほしい。 ・学習専用端末の活用を推進してほしい。 ・PCの活用をもっと推進する。AI(の活用)。オンラインで授業を見直したり、わからないところを聞けたりできるといい。 	<ul style="list-style-type: none"> ・1人1人のペースを理解し、それぞれの特性にあった個別指導ができるように少人数教育の取組みを進めてまいりたい。 ・自己調整しながら学習を進めることができるよう、学習専用端末の活用も含め、授業改善を推進してまいりたい。 ・自分の良さや個性を生かし、自主的に活動できるような多様な教育活動を推進するとしており、学習専用端末の活用も含め、教育の充実を図ってまいりたい。 <p>【P53「少人数教育の推進」・「自立性を重視した教育活動の展開」】</p>
49	配慮を要する子どもへの教育の推進(障害者・外国人)	(3)② (P54)	3. 声を聴かれにくい子どもへの意見聴取【外国にルーツのある子ども】	<p><学習環境></p> <ul style="list-style-type: none"> ・外国人のための日本語のテキストをもっとあればいい。 	<p>日本語指導のために必要な教材についての情報提供、指導法の工夫についての研修を進めてまいりたい。</p> <p>【P54「外国人の子どもや家庭への支援・配慮等」】</p>